

会見小学校

CS だより 第4号

2025年3月

文部科学大臣表彰

会見小学校は、平成 18 年に鳥取県で一番にコミュニティ・スクールが導入されました。以来、未来を担う子どもたちを地域全体で育む地域とともにある学校づくりと、地域や子どもをめぐる課題解決のための学校を核とした地域づくりを進めてきました。

この度、これまでの取組が評価され、文部科学大臣表彰を受けました。



2月28日（金）には文部科学省で授賞式があり、会見小CS委員会の石原会長と細田前会長が出席されました。これを機に、会見のコミュニティ・スクールがさらに発展するよう、皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

ひとつのわ会議・三者懇談会

1月28日（火）の午後から、いこい荘で「ひとつのわ会議」を行いました。「ひとつのわ」の「わ」は、「輪・話・和」の意味があります。子どもと大人（保護者、地域の方、先生）が輪になって、いろんな話をして、仲良くなって、いっしょに会見小学校を楽しい学校にしていくことを目的としています。

今年も5年生全員が参加し、5つのグループに分かれて、「会見小のよいところ・課題」「どんな会見小にしたいか」「そのためにどんなことをしたいか」というテーマで意見を交流しました。

子どもたちは、緊張もあったようですが、自分の考えをしっかりとっていました。また、お家の人や地域の方が、自分たちのことや会見小学校のことを応援してくださっていることも感じたようです。



会見小のよいところ	会見小の課題
<ul style="list-style-type: none"> ○仲が良い。(他学年、大人と子ども) ○低学年にやさしい。 ○協力ができる。 ○他学年との関わりがある。 ○地域との関わりがある。 ○楽しい(遊び・学習) ○ノリがいい。 ○明るい ○元気 ○素直 ○コミュニケーション(大人とも) ○親しみやすい ○あいさつ(全員ではないが) ○図書館が広くて本が多い。 ○個性豊か ○自然が豊か ○景色が良い(大山) ○芝生 ○給食がおいしい。 ○車が少ない。 ○あきらめずにがんばる。 ○子どもが意見を言える。 ○1クラス的人数がちょうど良い。 ○遊び道具が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> △ろうかを走る。△ろうかで遊ぶ △悪口(あおる、せめる) △いじめ △人のものを勝手にさわる △学習態度 △話を聞く △反応がない △メリハリがない △切り替え △あいさつの声が小さい △先生や友だちによって態度を変える △異学年や大人との交流が少ない △外で遊ぶ。 △授業の用具が古い。 △一輪車が古い。数が少ない。 △通学の仕方 △公共施設の使い方が悪い



どんな会見小にしたいか	
<ul style="list-style-type: none"> ◎明るく楽しい学校 ◎落ち着いている ◎居場所がある ◎健康、元気 ◎自信をもってチャレンジ ◎給食を残さずに食べる。 ◎人の話を聞く ◎学習に集中できる ◎切り替えができる ◎メリハリがある ◎いじめ、悪口のない ◎みんなにやさしい ◎みんなが(大人も)行きやすい学校 ◎ルールを守る ◎安全 ◎ろうかを走らない。 ◎地域の人とつながりのある ◎世代間(地域)での交流 ◎大人になったとき会見に帰りたいと思える ◎お互いに注意し合える。 ◎高学年がまずは見本になる。 	
そのためにどんなことをしたいか・大人に手伝ってほしいこと	
<ul style="list-style-type: none"> ・悪いことを見つけたら注意してほしい。 ・遊べるものを増やしてほしい。 ・できることは自分でする。 ・地域の人との交流を増やしたい。 ・あいさつをがんばりたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・優しく接してほしい。 ・一輪車の修繕(地域の人と) ・自分で考えて行動する。 ・地域の人と楽しい授業をしたい。 ・eスポーツを体験する

子どもたちが帰ったあとは、三者(家庭・地域・学校)懇談会を行いました。子どもたちから出た意見をもとに、学校や家庭、地域で具体的にどんなことができるか話し合いました。話し合ったことが形になるように、子どもも大人もいっしょに考えていきたいと思っています。